

発行所 〒160-0017  
東京都新宿区左門町11番地6の101  
社団法人 大学女性協会  
電話 03-3358-2882  
FAX 03-3358-2889  
http://www.jauw.org  
E-mail:jauw@jauw.org  
発行人 青木 怜子  
編集責任者 端本 和子

# J A U W

## おもな記事

- 1面 会長挨拶、第54回通常総会案内、一般社団法人申請に向けて(3)
- 2面~3面 国内奨学生選考経過と提出論文要旨
- 4面 NGO日本女性大会、東京支部だより、新春のつどい、国際奨学生研究報告会、理事会から、ほか

## 第54回通常総会ご案内

早春の候 皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、第54回通常総会が岡山市で開催されます。日程は下記の通りです。一般社団法人に移行するための大切な総会です。皆様お誘い合わせのうえ、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

### 1. 総会関係 (会場：ホテルグランヴィア岡山)

| 月日           | 会合      | 時間          | 会場        | 費用                     |
|--------------|---------|-------------|-----------|------------------------|
| 5月14日<br>(土) | 評議員会    | 13:00~15:00 | 3F クリスタル  |                        |
|              | 公開支部懇談会 | 15:00~17:00 |           |                        |
| 5月15日<br>(日) | 懇親会     | 18:00~20:30 | 4F フェニックス | 会費8,000円               |
|              | 総会      | 9:00~16:00  |           | 総会費3,000円<br>昼食費2,000円 |

\* 公開支部懇談会では、第54回通常総会議題のうち一般社団法人申請に関わる事案について、会員への事前説明を行います。関心のある方はどなたでも参加できます。

\* 懇親会では、出口裕子さんによる竹久夢二および岡山にゆかりの名曲をソプラノ独唱でお楽しみいただきます。

### 2. 宿泊

☆ホテルグランヴィア岡山 (JR岡山駅東口直結)

〒700-8515 岡山市駅元町1-5 Tel 086-234-7000 Fax 086-234-7097  
料金 S:12,600円 T:21,000円 (朝食・税金込)  
チェックイン13:00 チェックアウト12:00

☆三井ガーデンホテル岡山 (ホテルグランヴィア岡山南隣り)

〒700-0024 岡山市北駅元町1-7 Tel 086-235-1131 Fax 086-225-8831  
料金 S:8,500円 T:14,000円 (朝食・税金込)  
チェックイン14:00 チェックアウト11:00

★交通 JR岡山駅東口ホテルグランヴィア南隣。岡山空港よりJR岡山駅行きのリムジンバスあり。タクシー約30分

★ホテルの申し込み・変更及び支払いは、各自ホテルへ直接お願いします。

★ご予約の際、必ず大学女性協会とお伝えください。

### 3. 見学会

日程 5月16日(月) 9:30 ホテルグランヴィア出発...15:30 岡山駅到着・解散  
コース 岡山市立オリエント美術館 (講演と見学・解説)...(ランチ)...林原美術館 (見学・解説)

参加費 4,000円

### 4. 申込方法

①申込書に必要事項を記入の上「支部提出用」は各支部へ提出。「個人控え」は総会当日、各自ご持参ください。

各支部で出席者を取りまとめ「支部出席者取りまとめ用紙」にご記入の上3月31日までに下記へお送りください。

〒703-8266 岡山市中区湊451-172 渡邊年子方  
「第54回大学女性協会通常総会」係  
Tel・Fax 086-277-1115 E-mail tokonabe@live.jp

②費用(総会費・懇親会費・昼食代・見学会費)は、4月8日(金)までに、ゆうちょ銀行口座に個人別にお振り込みください。

振り込み先口座 記号15420 口座番号 25814391  
口座名称 社団法人大学女性協会岡山支部

③総会・懇親会・見学会のキャンセルは、4月30日までとします。  
但し、総会費3,000円は日時に関係なく返却できませんのでご了承ください。

※ご不明の点がございましたら下記にお問い合わせください。

〒700-0964 岡山市北区中仙道2-10-2

第54回通常総会実行委員長 岡崎優子

Tel・Fax 086-243-3078 E-mail y-okazaki@ymail.plala.or.jp

## 一般社団法人申請に向けて(3)

準備委員会委員長 阿部 幸子

当法人では、平成23年度中に新法人への移行手続が完了できるように準備を進めてきており、5月の岡山総会で一般社団法人への移行認可申請を行うことについてご承認をいただく予定です。また、移行法人最初の役員、「定款の変更の案」及び定款関連の諸規程、公益目的支出計画を実施する上で必要となる基本財産の特定資産化等について停止条件付き(移行登記完了日から施行)での承認を得なければなりません。

定款の変更の案は、関係各方面の点検を経て最終案が確定していますが、さらに、この定款の下で会の運営がスムーズに行われるように、必要な関連規程や細則の整備を行っています。会員資格の明確化、支部長会の設置なども規程で扱われることとなります。

一般社団法人への移行認可後は一旦解散登記をした後に新法人の設立登記をします。解散の際には残余財産を類似の公益団体に寄付して清算しますが、法改正で

## 年頭のいあい

会長 青木 怜子

新年おめでとうございます。今年が、皆さまにとり少しでも心温まる年となりますようにお祈り申し上げます。そして、今年の私たちの活動が、会の将来と明日の社会に繋がるよう、皆さまと共にそのスタートを切って参りたいと思います。

この年明けは、関東地方では穏やかな元旦日和となりましたが、あいにく、九州、山陰、北陸、東北、北海道など多くの地域で、荒々しい天候とその被害が続きました。皆様にはお障りなくいらっしゃいましたでしょうか。朝日新聞が正月三日の記事でいみじくも「東京は申しわけないような青空に恵まれて」と記しましたが、世の中は不公平なことも多く、新年だからといって、あまり浮き浮きとした気分になれないところがあります。

殊にこの冬は、暮れから年明けにかけて、職場におけるリストラや若い人たちの就職難、いじめ、虐待、自殺、高齢者の生活苦や孤独死など、心痛むことが多く報道されました。誰しもが他人ごとでない寂しさや不安に駆られて年末年始を過ごしたのではないかと思います。

私たちは、NGOの組織でありながら、こうした切実な問題では目に見えての貢献もできず、歯がゆい思いをすることもあります。私たちの取り組む教育の向上とそれによる社会への貢献は、一見すると、いかにも高邁な理想だけを掲げているように受け止められ、しかもその成果を私たち自身が見るには時間もかかり、あるいは、目に見える形では現れないかもしれません。

しかし、だからといって、今、私たちの活動を投げ捨てるわけにはいきません。私たちの会の創立者たちが、教育を普及させ、高等教育の場に女性の進出を促すことで、女性たちが少しでも世を照らすランプの灯となれるよう、そしてその灯した灯を消すことのないよう世代を超えて受け渡していこうと、彼女たちが国籍を越え、立場を越え、人種を越えて抱いたその熱意を途絶えさせないわけにはいかないのです。

日本では教育は十分に普及し、高等教育への女性の進出はもはや当然のこととして受け止められているかもしれませんが、しかし、不況になれば、往々にして女子よりも男子の就学が優先されたり、あるいはたとえ平等に教育が受けられたとしても、就学後の社会での性別による格差は解消されているのでしょうか。さらに、日本を離れて世界に目を向けた時、高等教育はおろか、基礎教育すら受けられない人たちが余りにも数多くいます。しかもそれは女児の間に顕著に見られるのです。私たち教育の向上を活動の軸とする者たちにとり、忘れてはならない現実の壁がそこにはあるのです。



国内奨学金贈呈式 1月8日(土) 京王プラザホテルにて  
写真—青木会長から奨学金を贈呈される安井医学奨学生の鳥井美江さん

會員自らが受けた教育を社会に還元するためには、具体的にはどうしたらよいか。それに対する英知と工夫と努力が私たちに求められています。この秋、予定されるセミナーの課題「改めて問う『市民社会を構成するNGO』の活動とは」も、まさにこのことと直結しているのです。

やむなく解散して新法人を設立することから、公益事業を行って自ら清算を行うことが定められました(移行法人と称し行政庁の監督あり)。当法人は、これまで文科省の監督下で実施してきた公益事業(定款の変更の案の事業1~4)を継続事業として選び、①調査研究・セミナー、②国内奨学、③国際奨学・支援、④国際ネットワークの各事業(いずれも経常収支は赤字で資産の充当が必要)に残余財産(公益目的財産)を充当し、約18年間で清算が終わるような公益目的支出計画を立てています。公益目的財産は、特定資産・基本財産および繰越金などの解散時の全資産であり、清算完了後も諸活動が継続できるように、移行後は新たに資産を増やす方が必要です。支部と本部の一元化に伴い、この公益目的支出計画は本部と支部の会計を合体させた形で行います。支部の事情によって4つの継続事業のいずれも行えない支部があれば、残余財産を出来るだけ小額にして頂きたいと考えますが、繰越金を消化しきれない場合には、法人全体の会計の中で処理することも必要になります。また、一元化によって会費は年会費一本になり支部会費の形では徴収できなくなります。この問題については早急に解決を迫られており、具体策を検討しているところです。なお、総会前日には公開支部懇談会を開催し、移行に関する事項についての説明を行う予定です。

### 2010年度 JA UW 国内奨学生

#### I 一般奨学生 大学院生6名 (\*ホームズ奨学生)

| 氏名     | 大学院         | 研究科・専攻           | 課程学年     | 推薦     | 出身大学     |
|--------|-------------|------------------|----------|--------|----------|
| *角山 朋子 | 埼玉大学大学院     | 文化科学・日本・アジア文化研究  | 博士後期課程1年 | 第1ブロック | 横浜市立大学   |
| 菊川美代子  | 同志社大学大学院    | 神学・神学            | 博士後期課程2年 | 京都支部   | 同志社大学    |
| 志村 聡美  | 東京理科大学大学院   | 理工学・応用生物学        | 修士課程2年   | 第1ブロック | 東京理科大学   |
| 菅谷 はるひ | 横浜国立大学大学院   | 国際社会科学・国際関係学     | 修士課程2年   | 神奈川支部  | 独協大学     |
| 宮内 裕美  | お茶の水女子大学大学院 | 人間文化創成科学・比較社会文化学 | 博士後期課程3年 | 第1ブロック | お茶の水女子大学 |
| 山中 聡恵  | 大阪府立大学大学院   | 理学系・情報数理学        | 博士後期課程2年 | 大阪支部   | 奈良教育大学   |

#### II 社会福祉奨学生 大学院生1名 学部生2名

| 氏名    | 大学院・大学     | 研究科・専攻、学部・学科  | 課程学年     | 推薦     | 出身大学・高校         |
|-------|------------|---------------|----------|--------|-----------------|
| 福元 彩  | 名古屋工業大学大学院 | 工学研究科・社会工学    | 博士前期課程2年 | 愛知支部   | 名古屋工業大学         |
| 稲谷 岬  | 神戸女子大学     | 家政学部管理栄養士養成課程 | 学部4年     | 神戸支部   | 那賀高等学校          |
| 小島江利子 | 津田塾大学      | 学芸学部英文学科      | 学部3年     | 第1ブロック | 山崎学園<br>富士見高等学校 |

#### III 安井医学奨学生 大学院生1名

| 氏名   | 大学院     | 研究科・専攻    | 課程学年   | 推薦     | 出身大学 |
|------|---------|-----------|--------|--------|------|
| 鳥井美江 | 三重大学大学院 | 医学系・生命医科学 | 博士課程4年 | 第1ブロック | 三重大学 |

## 二〇一〇年度 国内奨学金贈呈式

2011年1月8日(土)、京王プラザホテル「花の間」で国内奨学金贈呈式が行われた。本年度は一般奨学生4名、ホームズ奨学生1名、社会福祉奨学生3名、安井医学奨学生1名が出席した。

### 選考と結果

#### 第63回 一般奨学生 第20回 安井医学奨学生

国内奨学委員長

岡部 佳世

2010年度の国内奨学生選考経過と奨学生の選考評価について報告します。  
6月上旬に募集を開始し、7月に入ると問い合わせ

せも増え、当奨学金への関心の高まりを感じさせる状況となりました。応募総数は69件。各支部および第一ブロック(東京および支部の置かれていない県)において一般奨学生の第一次選考が行われた後、一般奨学生27名、安井医学奨学生13名、社会福祉奨学生7名の本選考が、10月下旬に行われました。  
公正かつ厳正な選考の結果、一般奨学生5名、ホームズ奨学生1名、安井医学奨学生1名および社会福祉奨学生3名の候補者が選ばれ、理事会の承認を経て、奨学生として決定されました。

今回の選考委員会から二点報告します。第一は、実力ある女性研究者が全国で育っていることを、選考委員一同改めて実感した点です。今回、残念ながら選外となられた方々もいづれならぬ素晴らしい内容でした。第二は、テーマの確実さと独創性、研究計画の充実と実現性等についての専門的知見からの検討を軸に様々な観点から選考を行い、まことに大学女性協会の奨学生にふさわしい方々を選ぶことができた点です。今年度は理系・文系、支部推薦、学年等の構成への目配りも加味された結果となりました。次に、奨学生の研究内容と選考委員会でのコメントを一言ずつ記します。(社会福祉奨学生別記)

【一般奨学生(50音順)】  
角山朋子さんの研究は、我が国の近代デザイン運動がテーマで、一人の女性の国境を越えたデザイン活動のダイナミズムを追うものです。文化創造に関わった女性の研究という点で、ホームズ奨学生として選考されました。菊川美代子さんの研究は、近代日本におけるキリスト教の土着化をテーマとしたもので、将来性のある神学研究として期待されました。志村聡美さんの研究は、有機合成分野の中心課題の一つである生理活性物質の合成で、必要なテクニックと方法を有している点が高く評価されました。菅谷はるひさんの研究は、発展途上国訪問で得た知見に基づいて開発援助のあり方を検討するもので、そのグローバルな視点と今後の展開が期待されました。宮内裕美さんの研究は、視覚表象におけるセクシュアリティの問題を扱うもので、ジェンダー研究として、また継続的な研究姿勢も評価されました。山中聡恵さんの研究は、拡大ハイパー群の決定という対称空間上の球関数とも関係する数学上重要な分野的研究であることが、高い評価を得ました。

#### 【安井医学奨学生】

鳥井美江さんの研究は、癌化を抑えるチオレドキシンを多く含む遺伝子改造マウスを作って解析を行うもので、内容および研究計画のしつかりした、また成果の期待できる研究として評価されました。皆さまのご協力のおかげで、このように優秀な奨学生の選考報告ができましたことを、御礼申し上げます。

#### 第39回社会福祉奨学生

社会福祉委員長

縄田 眞紀子

今年度の社会福祉奨学生応募者は7名でした。大学院生1名、学部生6名です。10月23日、岩村奨学事業担当理事出席のもとに選考委員会を開催。研究内容、学業成績、人物評価、将来への展望、障害の状況について総合的に議論を重ね、大学院生1名、学部生2名の候補者を選び、11月理事会で承認され決定しました。

今年度の傾向としては、多岐にわたった分野から応募があったことです。社会工学、英文学、商学、国際教養学、家政学など。学問への意欲と情熱を委員一同改めて感じたことです。

福元彩さんは、博士前期課程社会工学専攻です。人が行き交う場であり楽しく豊かな空間である街路、特に坂道空間に着目した「坂道空間における期待感について」連続する要素がもたらす影響」の研究は、今後の街路計画への応用が期待されます。稲谷岬さんは、幼少時、長い入院生活で体験された食事への思いから、「食事は美味しく健康になるというだけでなく、楽しいものでありたい」と管理栄養士を目指しその養成課程専攻です。将来は病

業務に携わり、自分がかつて感じたように、毎日の食事が楽しみで待ち遠しいと感じてもらえるような食事作りを目標にしています。  
小島江利子さんは、英語学専攻です。言葉遊びの分析を通して人の心に届く伝え方を研究しています。将来は、県や市の職員として地域の基盤作りに関わり、語学を活かした外国人のサポートなど自分らしいサービスを提供したいと希望しています。

以上のように、身体的障害を乗り越えて、それぞれの分野で積極的に励まれ、将来はその成果を社会に役立てたいとチャレンジされている方々に奨学金を差し上げ、勉学・研究の一助としていただければと、誠にうれしき限りです。

#### 提出論文概要と将来の抱負

##### 【一般奨学生】

##### 日頃近代デザイン研究…越境するデザインとナショナル・アイデンティティ創造

埼玉大学大学院

角山 朋子

デザインは芸術思想のみならず時代の政治、経済、社会状況を反映し、人々の生活様式を規定し、思想・情報伝達の手段ともなります。私は20世紀前半のオーストリア・日本近代デザイン研究を専攻し、多民族国家の近代化を新たな視覚文化創造と共に試みるオーストリアと、西洋化との二重の「近代化」の中で進展した日本の近代デザイン運動の変遷を研究しています。博士論文では、ウィーンと京都で活動したオーストリア人デザイナーのフェリツェ・上野リックス(1893-1967)と日本のモダニストたちとの交流に着目し、モダニズム前期のナショナル・アイデンティティ生成プロセスとデザインの関係、異文化間の情報伝達により変容する近代デザイン運動のダイナミズムを究明する計画です。関係者の作品、文章、同時代の批評等を分析し、激動の時代を多方面から論じた先行研究からも考察します。

知られざる女性デザイナーを軸にオーストリアと日本のモダニズム期デザイン史の一端を解明すると同時に、当時の両国の交流関係について初の実証的考察を試みるのが本研究の特色です。また、国境を越えたデザイン活動の様相は、グローバル化が進む現代の国家・地域の文化構築に新たな視座をもたらすはずで、デザイン史研究はアカデミックな世界に閉ざされたものではありません。私たち自身のよりよい未来を創りあげるべく、博士論文完成に向け、今後いっそう努力する所存です。

##### 近代日本における土着化キリスト教の研究——無教会主義の事例から——

同志社大学大学院

菊川美代子

私は、日本のキリスト教系土着教団誕生の萌芽となった無教会主義を研究している。一つの宗教が発祥の地から他の地にもたらされ、その地の文化の中で新しい表現形態を見出すことを、神学用語で「土着化」という。内村鑑三は、西洋教会の支配と資金から独立した無教会主義を創始し、西洋から移植されたキリスト教教会に代わるものを明確に示した最初の日本人指導者であった。したがって、内村とその弟子達を研究し、日本におけるキリスト教土着化のあり方を検討している。

アジア・太平洋戦争下における国家の帝国主義的侵略や全体主義的統合に対する批判と抵抗を頂点とする無教会主義の歴史は、広い分野の研究者の注目を集めてきた。だがその関心は、大半が抵抗の側面に集中してきた。その一方で、内村がキリスト教の土着化に挑み続けたこと、更に無教会主義の人々にその挑戦が継承されてきたことには触れられてこなかった。それゆえ、無教会の抵抗の側面を踏まえつつ、その土着化を神学的に分析する。

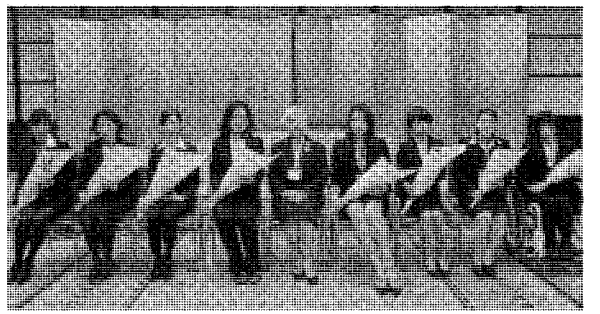
近年の神学部・神学研究科は非キリスト者に門戸を開く一方、神学者は一般的に「信仰を持たない者に神学は不可能である」との立場をとる。つまり、教会の外からの目で、キリスト者でない日本人にとってのキリスト教の意味を神学的に探求する機会が極めて少ない。それゆえ、私は神学を学ぶ非キリスト者という自分の立場から、非キリスト者にも開かれた神学を試みるべく、研究職を志したい。

##### 抗ウイルス活性を有する新規環状ペプチド MA026 の合成研究

東京理科大学大学院

志村 聡美

ウイルスによる感染症は我々の生活にとって脅威であり、ウイルス感染症による被害を抑制することは人類にとって急務の課題です。生理活性物質 MA026 は、環状ペプチドに脂肪酸が結合した非常に複雑な構造を有する化合物です。MA026 は魚類ウイルスや家畜由来のインフルエンザウイルスを不活性化することが明らかになっており、新たな抗ウイルス剤としての応用が期待されます。しかし天然資源から得られる量は僅かであり、合成による供給が必要です。私は MA026 の化学合成法の確立を目的とし、本研究に着手しました。MA026 はアミノ酸 8 残基からなるマクロラク



国内奨学金贈呈式後喜びにみちた奨学生と青木会長

トン構造、アミノ酸6残基からなる鎖状構造、さらにそのN末端に脂肪酸が結合した構造を有しています。我々はMA026を3つのセグメントに分割し、それぞれ合成した後縮合させ、収束的に合成する計画を立案しました。これまでにMA026を構成する全てのフラグメントを合成しており、現在その縮合を検討中です。今後、全てのフラグメントを縮合した後保護基を除去し、MA026を全合成する予定です。修士課程修了後は博士後期課程に進学し、MA026の作用機序を解明するため、さらに研究を進める予定です。これからの研究に精進し、将来は社会に貢献する研究成果を発表できる研究者になりたいと思っております。

### 「ニュー YORK・ダダにおけるセクシュアリティ表象研究」を通して

お茶の水女子大学大学院  
宮内 裕美

これまでの研究では、マルセル・デュシャンの作品を中心として、セクシュアリティの表象という観点から考察してまいりました。その過程では、芸術家と作品における主体性の揺らぎとセクシュアリティの問題が密接な関連性を示す例を主に扱いましたが、このことは視覚表象におけるセクシュアリティの問題が同時代の芸術家たちによって共有されていたことを確認する作業でもありました。

### 「ソーシャル・キャピタルと政府開発援助政策」

横浜国立大学大学院  
菅谷 はるひ

私は、発展途上国における、持続可能な援助政策について研究を行っています。今までは、フィリピンやタンザニアを訪問し、現地の人たちと共に生活することによって、そのコミュニティに根づく文化や規範、信頼といった目には見えないものを強く感じてきました。開発援助の世界では、そのような「目には見えないもの」に対しての意識と配慮が低いのではないかと問題意識を抱き、先行研究や理論の整理をしたところ、「ソーシャル・キャピタル (Social Capital)」という言葉にたどり着きました。

ソーシャル・キャピタルとは、直訳すると「社会資本」となり、一般的に「人々の協同行動を促進させること」によって社会の効率性を改善できる、信頼、規範、ネットワークといった社会組織の特徴と定義されています。そこで、修士論文では、日本の過去のプロジェクト支援からソーシャル・キャピタルを分析し、それがいかにプロジェクトの成果に影響を与え、持続可能な発展に繋がりを、どのような外部要因があれば強化できるのかという点を考察しています。このソーシャル・キャピタルを、開発援助の概念に加えることで、これまであまりこうした側面に感心をもたなかった関係者に「社会のあり方」に目を向ける糸口を与えることが修士論文の意義であると考えます。

よって、低位数のハイパー群の構造を決定し、モデルを作成する必要があります。私はハイパー群の拡大問題に取り組み、有効であるモデルを得ようと考えた。

### 位數3のハイパー群の局所コ

大阪府立大学大学院  
山中 聡 恵

ハイパー群とは、局所コンパクト群とその群上で定義される測度の合成積のなす\*バナッハ環の概念を一般化したもので、1975年頃にその公理が確立したという比較的新しい数学である。ハイパー群の構造は2002年に位數3のハイパー群の構造が決定された後、著しい進展がないままであった。

### 「社会福祉奨学生」

坂道空間における期待感について  
連続する要素がもたらす影響

名古屋工業大学大学院  
福元 彩

私の所属する松本研究室では、空間における期待感に関する研究を行ってきた。期待感とは、街路のような動的空間の豊かさを表すための重要な概念であり、住宅地などの街路空間やアプローチ空間の構成方法、及び動線計画にも応用が可能なものである。

究を更に深め、将来的には都市における様々な街路空間の構成の指針となることを展望する。更に将来、自らが設計に携わる上での重要な指標とすると共に、他の人物が応用する場合、世の中に現在より更に快適で楽しい空間が多くなることを展望する。

### シウウガの摂取による体温上昇効果

神戸女子大学  
稲谷 岬

私の卒論研究のテーマは、シウウガの摂取による体温上昇効果である。平均体温が35℃台になると、血流や臓器の機能が十分にはたらかなくなり、体温低下に伴う基礎代謝量の低下、免疫力の低下、自律神経障害等が起こりやすくなるという報告がある。

### 私の将来の展望

津田塾大学  
小島 江利子

私は先天性の脳性麻痺で下肢に障害があり、これまで家族を始め学校の教職員の方々、友達、多くの人を支えられて学生生活を送ってきた。しかし社会に出てからは逆に自分が社会や他人の力になれる仕事に携わりたい。

卒業後は県や市の職員として地域の基盤作りに関わることで、私に手を貸して下さった方に恩返しを考えている。地方公務員の職務は財政から福祉、不動産まで幅広く、それらを地域住民の方に理解してもらわなくてはならない。そのため現在の研究で得たものを生かして、市民・県民の生活上の不便や悩みに常に耳を傾け、相手の立場に立つて分かりやすく情報を提供するとともに、彼らの意見を法案企画の段階から積極的に取り入れたい。そしていつかは、翻訳の学習経験を元に外国の方がその地域で快適に暮らせるようサポートするなど、私らしいサービスが提供できればうれしく思う。

### 【安井医学奨学生】

炎症性大腸炎がんにおける酸化因子チオレドキシンの発がん制御機構の解析

三重大学大学院  
鳥井 美江

慢性炎症性腸疾患に含まれる潰瘍性大腸炎は、クローン病と共に特定疾患として厚生労働省に指定されている難治性疾患である。わが国の潰瘍性大腸炎の患者数は年々急増しており、潰瘍性大腸炎で炎症を繰り返した患者は大腸がんを合併する頻度が高い事からも、潰瘍性大腸炎の原因究明が急務とされている。最近の研究で潰瘍性大腸炎の炎症局所において誘導される酸化ストレスは発がんに必要な役割を果たしているという事が明らかになった。

### 私の将来の展望

安井医学奨学生として、今後も社会に還元できる研究を目指し、日々努力していきたいと思っております。

私の抱負は、管理栄養士の資格を取得し、まずは身近な人々に栄養や健康に対する情報提供をしていくことであり、将来的には、病院管理栄養士として、献立作成や調理、栄養指導などを行っていきたく考えている。食生活は生きていく上で欠かせないことであるからこそ、私は人々にその大切さと楽しさを伝えていきたいと考えている。

私は先天的な脳性麻痺で下肢に障害があり、これまで家族を始め学校の教職員の方々、友達、多くの人を支えられて学生生活を送ってきた。しかし社会に出てからは逆に自分が社会や他人の力になれる仕事に携わりたい。

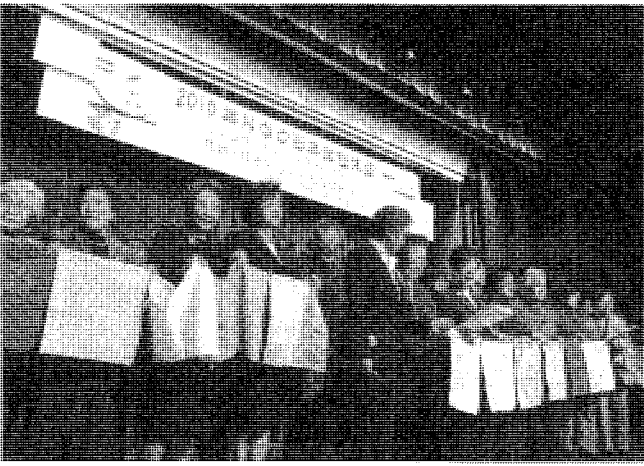


2010年NGO日本女性大会

2010年NGO日本女性大会実行委員(国際ネットワーク担当理事) 牧島悠美子

2010年12月4日(土)、サイエンスホールで、国際婦人年連絡会(加盟・全国組織38団体)主催の大会が、約500名の参加者を迎え、開催された。

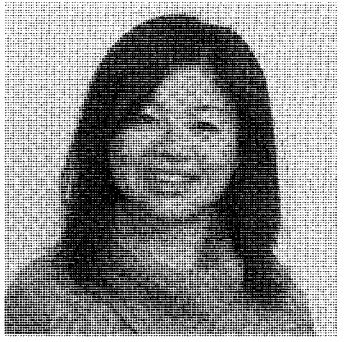
JAUWからは青木会長はじめ、30名の参加があり、午前の司会に五十嵐康子国内NGO委員長、来賓挨拶後のUN Women(ユニフェム)などの国連女性関連4機関が統合して設立した担当事務次長、ミチエ・バチエレ前チリ大統領のメッセージを房野桂前会長が代読。日本はアジア地域10カ国の執理事務所に選出され、任期は3年である。



壇上でのフィナーレ北京女性大会での世界の女性の思いを寄せたハンカチを掲げて

国際奨学生研究報告会

国際奨学委員長 平野和子



2010年度国際奨学生 ファン・シュウさん 年度国際奨学生ファン・シュウさんの研究報告会が、12月5日JAUW本部事務所で開催された。

シユットガルト大学修士課程と同大学ナビゲーション研究所でGPSを使った研究を続けてきたが、専門分野を広げるために測地学の分野におけるGPSの利用に興味を抱き、密度の高いGPS網が設置されている日本での研究を楽しみに来日したというファンさん。研究テーマは「地震で生じる地殻変動測定におけるGPSの利用について」十勝沖地震データを用いて「だった。

専門性が高く、分りにくい面があったが、専門分野が近く、当日通訳をしていただいた岡部佳世国内奨学委員長の助けを借りて説明すると、以下のようになる。地震が起きていく間の地面の動きの測定には、通常は地震加速度計が用いられるが、この測定で得られるデータから地面のずれを算出するには2度の積分計算を行わなくてはならない。ノイズを含むデータであるため2度の積分によって、ノイズがかなり大きくなる。この際安定したデータを得られるGPSを併用することによって、ノイズが急激に増加することのない状態で、地面の動きの詳細を得ることができるとのことである。

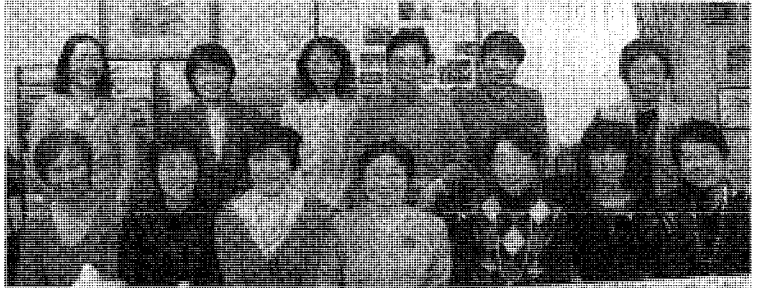
最後に東京支部からの記念品が小澤支部長から手渡されて、閉会した。内容の難しさとは裏腹に、明るい笑顔を交えて報告をしたファンさんの前途に期待したい。

研究報告会のお知らせ

ダスカロヴァさん(ジェンダーについて) エシッドさん(癌幹細胞について) 日時: 2011年3月6日午後1時半から 会場: アルカディア市ヶ谷 会費: 1000円 申込: 2011年3月1日迄に事務所へ (電03-3358-2882)

支部だより

東京支部長 小澤紀子



1月の東京支部委員会後、小澤支部長を囲んで。

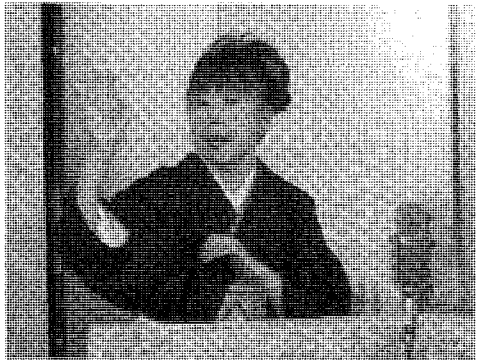
東京支部が今年度と新年度に予定している活動を紹介します。1. 東京支部国際奨学金 JAUW本部主催の奨学金制度とは別に、東京支部主催の奨学金制度を2009年度に立ち上げました。規程は「①開発途上国に在住しており、②現地の高等教育機関に在籍している女子に、③正規に卒業するまで毎年送金する」というものです。二回目にあたる本年度はフィリピンミンダナオ島に住む原住民である大学一年生、カルメラさんを採用しました。十代半ばで生活のために結婚させられるのが当たり前の土地にあって、ぜひ教育学部英文科を卒業して欲しいと願います。

2. 講演会 平成22年12月15日 於 津田ホール 「ピラーン民族奨学生カルメラの住む村」 開発途上国特有の背景を理解していただきたく、現地活動に直接関わっている山崎登美子氏を講師に迎えて開きました。

3. 見学会 平成23年2月24日(木) 環七第三建設事務所(地下鉄メトロ丸の内線方南町駅集合) 都市型洪水を防ぐために東京都水道局が建設した巨大ドームのような雨水地下貯水池を見学します。専門的な説明もあります。 4. 次年度お香の会予定 京都から専門家を呼んで、春と秋の二回開きます。

新春のつどい

2011年1月8日(土) 新宿京王プラザホテル・花の間で恒例の新年会が開かれた。出席者106名。東京支部61名、仙台から長崎まで各支部31名、国内奨学金贈呈式参加学生9名、本年度国際奨学生ブルガリアのダスカロヴァさんとその令嬢ほか数名であった。



熱演する講談師 神田阿久鯉さん

青木会長よりの贈呈式には、今年例年になく、1名の欠席のみで、9名の出席者で、1時間の式次第の中、各々3分間で研究の要旨を専門用語を用い、

第10回 自然科学講演会のお知らせ「鉄と植物」

講師 西澤直子会員(科学研究奨励委員会) 東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授 日時 3月26日(土) 14:00~16:00 場所 お茶の水女子大学 理学部3号館2階 会議室 申し込み 3月23日(水)までにJAUW事務所へ

生物の生存に必須の鉄獲得の分子機構と、それを応用したアルカリ性土壌でも生育できる新種のイネの開発についてやさしく説明していただきます。皆様のご参加をお待ちしております。会員以外のお知り合いのご来場も歓迎です。 科学研究奨励委員会(東京支部・お茶の水女子大学共催)

《理事会から》

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。 12月14日文部科学省講堂にて「平成22年度文部科学省社会教育功労者」として、今井けい元JAUW会長(社団法人大学女性協会推薦)が表彰されました。

第30回メキシコ総会での決議に関して

第30回IFUWメキシコ会議では、9本の決議を採択しましたので、各国の協会で、この決議を履行することが期待されています。つきましては、履行できることについて、各支部、および本部各員会で検討していただくほか、各会員の間でも、実行可能なことについて、お考え頂ければと思います。

\*全文はJAUW HPのIFUWメキシコ総会報告の総会決議英語原文と日本語訳をご覧ください。

「届けよう、パキスタンの子どもたちに！」

パキスタンは昨年、大洪水で甚大な被害を受けました。家財を失った家族が、「子どもを学校へ」と考えるようになったとしても、まず男の子が優先され、女の子は後回しになるおそれがあります。かの地での子供教育を後退させないため、IFUWとパキスタン大学女性協会、Pencils for Pakistanというキャンペーンを立ち上げました。10ドルで3人分の筆記用具1年分がまかなえるとのこと。JAUWもこれに賛同し、10月30日のシンポジウムで募金活動「鉛筆キャンペーン、届けよう、パキスタンの子どもたちに」を開始いたしました。 皆さまのご協力をお願いいたします。JAUW本部でまとめ、IFUWへ送金します。 <送金方法: 以下のようにお願いします> ・送金目安 1人1口1,000円(約10ドル分)以上。 支部一括、または個人で(個人の場合は支部名を記入) ・申込締切日 4月30日 ・振込先 三菱東京UFJ銀行四谷支店 普通預金・口座番号1077777 別口(社)大学女性協会 理事 青木怜子